



祝入学

第58期生

ようこそ南高へ。これから我々と一緒に
南高での高校生活を創っていきましょう。

「コロナウィルスの感染拡大のため、世界全体が異常事態となっている最中ではありますが、窓の外に目を向ければ、いつもと変わらない春らしい晴天と陽光に照らされた美しい桜が咲き誇る佳き日に、第58回の入学式が挙行され…」と本来ならば書き始めるべきこの進路だよりですが、今年は残念ながらコロナウィルスの感染防止措置のため、例年通りの入学式を行うことができませんでした。式が行われる予定だった8日は、新入生を受験番号で60人ずつの4グループに分け、分散した形で入学手続きと書類の回収などを体育館で行いました。とても残念な形でのスタートとなってしまいましたが、私は受付の当番をしながら、新一年生が真新しい制服に身を包み、元気よくこやかに挨拶してくれる姿を見て、「**新入生にはこの難局を乗り越えて、南高生としてこれからの3年間を力強く過ごしてほしい**」と切に思いました。

3月25日に短時間で行われた終業式以来、生徒たちを久しく目にしていなかったため、8日の入学手続きの際は、制服姿の生徒を久しぶりに見て、とてもうれしい気持ちになりました。やはり、学校の主役は生徒であるということを痛感し、一日でも早く学校が平常通りになればいい

と本当に願います。しかしながら、感染者数は県内でも少しずつ増加しており、学校はいまだに休業が続き、先の見通しが立たないのが現状です。生徒の皆さんは登校できず、授業も部活も学校行事もまだ始まっておらず、今後の学校生活がどうなるのか不安な気持ちで日々を過ごしていることと推察されます。しかし、寒い冬を経て美しい花を咲かせる桜のように、今は感染防止に努め、自分ができることをきちんと行ってほしいと思います。その蓄えが、学校再開後に必ず活かされ、また楽しい学校生活が戻ってくるはずです！今はその日を思い描いて、日々を大切に過ごしましょう！

<第55期生の大学受験結果と第56期生へのエール>

**東京大学2名・京都大学1名など国公立大学合格数123
早稲田大学7名・東京理科大学13名など私立大学合格数380**

この3月に卒業した第55期生の大学合格実績の集計が完了しました。

第55期生の最終的な合格者数は**国公立大学123、私立大学380、国公立短期大学11、各種専門学校19**となりました。

ご存じの方も多いと思いますが、今年度より大学入試の仕組みが変わります。これまでの「大学入試センター試験」は「**大学入学共通テスト**」になり、また入試の区分の名称も、「**総合型選抜**（旧AO入試）」、「**学校推薦型選抜**（旧推薦入試）」などに変更されることが決まっており、そのため昨年度の入試においても全国的に浪人をさける**安全志向の強い志願傾向**が見られました。また**最後のセンター試験がやや難化し平均点がダウン**したこともあって、本校でも公立大学と私立大学の受験者が増えました。現3年生は受験までもう1年を切っています！昨年の先輩の受験の結果から学び、希望進路を実現できるように計画的に努力していきましょう！

予定は今後変更の可能性があります。ご注意ください。

5月の進路関係行事

- 8(金) 進路希望調査①
- 15(金) 進路講演会①②
定期試験時間割発表
生徒懇談期間～21日
- 22(金) 第1回定期試験
(～27日)
- 30(土) 進研共テ模試③
(～31日)
- 31(日) 駿台全国模試①②③

6月の進路関係行事

- 5(金) オープンキャンパスプラン作成②
大学出張講義③
- 12(金) キャリア教育①
- 15(月) 緑陽祭(体育祭)
- 19(金) 第56回緑陽祭
～20(土)
- 22(月) 代休
- 25(木) 試験時間割発表
- 26(金) 模擬裁判②

※○数字は学年を示します



<進路を考えるヒント>

NO IMAGE

https://warnerbros.co.jp/home_entertainment/detail.php?title_id=3292

今回の進路を考えるヒントは映画「**コンテイジョン**」です。コンテイジョン(contagion)とは「**感染**」という意味ですが、未知のウィルスが世界中で感染拡大してしまうという内容の映画です。この映画の公開は今から9年前の2011年ですが、映画で描かれている内容は、コロナウィルスの感染拡大に見舞われているまさに**現在の世界そのもの**です。マット・デイモン、ケイト・ウィンスレット、ジュード・ロウなど豪華スター勢揃いであるにもかかわらず、公開当時は日本での興行収入は3億7千万円ほどと振るわなかった映画ですが、今改めてこの映画を見ると、2020年の今を予言していたのではないかと思います。感染症が瞬間に広がっていく恐怖が描かれています。当時はもちろん、エンターテインメントとしてこの映画を見ていたわけですが、今、私たちは本当にコロナウィルスの感染拡大に苦しめられ、世界で多くの死者を出す惨事を目の当たりにしており、そうした状況と重ね合わせてこの映画を見ること

で、多くのことが学べるのではないかと思います。例えば、この映画は真つ暗な画面で最初の感染者であるベス・エムホフ（グウィネス・パルトロー）が咳込む音から始まります。彼女が店員に差し出すクレジットカード、それを受け取りレジにスワイプして打ち込む画面。そうしたものをカメラは必要以上の間捉えます。感染はこうやって様々な媒介物を介して知らぬうちに広まっていくということを無言の画面が教えてくれます。またケイト・ウィンスレット演じるCDC（疾病予防管理センター）のエリン・ミアーズは、映画のワンシーンで「**人は1日に2000～3000回も顔を触り、起きているときには1分間に3～5回顔に触る**」と警告します。だからこそ、**手洗いが予防には最も重要である**と…。映画は感染の開始2日目の時点からスタートします。では1日目には何があったのか？今こそ、この映画を見る価値があり、**予防のために何が学べるのか**ではないかと思えます。この時期にレンタルでDVD等を借りるのは要注意かもしれませんが、映画配信サービス等が利用できる人は視聴をお勧めします。

<「PTA進路講演会」中止のお知らせ>

4月29日(水・祝日)はPTA学級懇談会・学年総会及び全校総会を実施し、午後にはPTA進路講演会を開催する予定になっていました。しかし、コロナウィルスの感染拡大により、5月6日まで本校も休業となるため、残念ではありますが、今回の**進路講演会は中止**させていただきます。本来であれば、「**高校生にとって必要な親のサポートは何か？—子どもの主体性を支えるために—**」をテーマに、**山梨大学教育学部附属教育実践総合センターの准教授**でいらっしゃる**川本静香先生**の講演を実施する予定でした。今後、保護者会などで講演を行うことが可能であれば、また川本先生にご講演いただく機会を持てればと考えております。

<令和2年度 進路指導部>

末尾になりますが、今年度の進路指導部を紹介します。

| | 氏名 | 正副担任 | 教科・科目 | 備考 |
|------|--------|------|-------|--------|
| 主任 | 角田 恵一 | —— | 英語 | |
| 副主任 | 小林 玲子 | 3-1副 | 国語 | |
| 第3学年 | 三井 美和 | 3-1正 | 英語 | |
| | 萩原 真慈 | 3-4正 | 公民 | |
| | 一瀬 大樹 | 3-5正 | 国語 | 理数科副主任 |
| 第2学年 | 柴田 香枝 | 2-1正 | 国語 | |
| | 堀内 通之 | 2-5正 | 数学 | 理数科主任 |
| | 小澤 隼人 | 2-3副 | 英語 | |
| 第1学年 | 水谷 繁 | 1-1正 | 化学 | |
| | 角田 具矢 | 1-5正 | 数学 | |
| 事務 | 上田 百合子 | —— | | |

左の11名が今年度、進路指導部を担当します。

進路指導部の業務は各学年生徒の学業面での支援が主となりますが、生徒一人ひとりが自分の適性を探りながら資質・能力を向上させ、希望する進路実現に向けて日々努力することができるように、様々な面から全力で支援していきます。一年間よろしくお願いいたします。